

朝晩めつきり寒くなりました

## 秋も深まっています

これを書いてるのは十一月五日です。このところ朝晩の最低気温も10℃を割り込むようになり、肌寒いどころかちょっと寒いと感じます。日中の最高気温も20℃を下回り、すっかり秋も深まってまいりました。

皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

今年の夏も暑さが厳しく、また10月半ばくらいまで残暑も長引いていたところに、一気に秋がやってきた感じがします。全国的に見ると北海道や東北地方では、例年より早めの積雪となっていたりして、今年の秋は駆け足で過ぎ去っていきそうですね。

気象庁の長期予報を見ると、今年の冬はわりと寒くなりそうです。こういう風に季節が一気に動くような状態だと体調管理が難しいですね。いろいろな感染症も流行しているようなので、まずは手洗いうがいや免疫力を高めるように努めましょう。



## 例大祭懸事終了

さる十月二十五・二十六日の両日にかけて、淀姫神社氏子総代会主催による例大祭こと「志佐くんち」が齋行されました。

### ◆二十五日(例大祭前夜祭)

二十五日午後7時より淀姫神社本殿において齋行された前夜祭。志佐商工振興会青年部の子ども神輿に淀姫さまの分け御霊をお遷しする神事などが執り行われ、翌日の「松浦子ども太鼓」道中の無事安全を祈願しました。



子ども神輿

### ◆二十六日(例大祭)

午前9時過ぎより、神社裏手に鎮座まします「裏岩屋様」にて、蘇鉄団子の献納神事が執り行われました。これは、淀姫命が膳崎にご着船遊ばした際、現御厨町木場地区の人々が蘇鉄団子を献上したという故事を由緒としている神事で、これが例大祭当日のすべての始まりの神事となります。

今年も木場氏子の皆さまより蘇鉄団子が献納され、総代会長をはじめ総代の方達による拝礼が執り行われ、例大祭が始まりました。



裏岩屋様神事

引き続き本殿にて、例大祭神事が多くの神職さんのお手伝いにより、とどこおりなく執り行われました。また、ご来賓の皆さまには多数の出席をいただきましたこと、本当にありがとうございました。



例大祭神事

午後からは、淀姫さまのお御霊をお乗せした神輿が町内を回る御神幸式から始まりです。この日は少し蒸すような一日でしたが、地区の皆さまご協力のもと、無事にお神輿が町内を巡幸しました。

続いて流鏝馬神事です。今年も川町より福田邦光さん、生月町より中村嘉宏さんがご奉仕くださいました。お二方で矢を18本的に向かって射ます。今年は14本命中という成績でした。来年もきつとよい年になるでしょう。



御神幸式より

流鏝馬神事終了後、本殿にてすべての祭典の終了をご報告する「事納め神事」が執り行われ、例大祭のすべての神事が無事に納められました。